

## 3月『ふれあい喫茶』開催のご案内

早春の候、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
今月も下記のとおり、『ふれあい喫茶』を開催いたします。年度末の慌ただししい時季ですが、皆様お誘いあわせの上、お越しくださいますようご案内いたします。

### 記

※ 日時 ; 3月18日(水)  
午前10時より  
(11時20分頃まで)

※ 場所 ; 辻川公民館 1階和室

※ メニュー ; コーヒー or 紅茶, トースト,  
サラダ, 果物, ゆで卵  
1食 200円



令和8年3月1日  
春告草の寒咲きアヤメと水仙



令和8年2月18日  
2月ふれあい喫茶

◆ 次回は4月15日(水)の開催予定です ♪  
春の特別企画として歌声とギターの生演奏  
を予定しています。ご期待ください。

# 回覧

辻川子ども会の皆様へ

令和8年 4月吉日  
辻川子ども会

# ご協力お願い致します!!

ボンマルシェで お買い物の際には..

「辻川子ども会」のボックスに  
ボンマルシェのお買い物「レシート」を  
投函してください!!

☆家計簿ご記入後、  
次回来店時の投函でもOK!



ボンマルシェ店内に、写真のような『コミュニティボックス』が設置されています。  
ここに投函されたお買い物レシートの合計金額の約 0.3%が辻川子ども会へ  
支援金として還元されます。



だより

1年生昔あそび大会



3年生点字体験



節分 神積寺鬼・山の神来校



令和7年度 第13号  
令和8年2月27日  
福崎町立田原小学校  
校長 高岡宏明



HPのQRコード

## 「竹」のように子どもたちも節目の春を迎えます

寒さに身を縮める日があるかと思えば、上着がいらぬほどの陽気に包まれる日もあり、季節の移ろいをゆっくりと感じる頃となりました。校庭の木々にも小さな芽が顔を出し、いよいよ春の訪れを告げています。

さて、3月を迎え、今年度の締めくくりの時期となりました。本校は「しなやかに生きる田原っ子」をめざす児童像に掲げ、1年間、教育活動を進めてまいりました。この「しなやかさ」を象徴するものとして、よく「竹」が挙げられます。竹は、どんなに強い風に吹かれても折れることなく大きくしなり、再び真っ直ぐに立ち上がります。その強さの秘密は、茎の途中に刻まれた「節（ふし）」にあります。節があるからこそ、竹は中空でありながらも驚くほどの弾力と強度を持ち、空へ向かって高く伸び続けることができます。

学校生活における3月も、子どもたちにとって大切な「節目」の時です。この1年間、子どもたちは学

習や行事、日々の友だちとの関わりの中で、多くの経験を積み重ねてきました。成功の喜びはもちろん、時には思い通りにいかない葛藤もあったことでしょう。それら一つひとつの経験を振り返り、自分自身の成長として刻み込むことこそが、心の「節」となります。「節目」を丁寧に作ることは、次なる成長へ向けて、より高く、よりしなやかに伸びていくための大切な準備と言えます。

6年生は卒業という大きな節目を経て、中学校という新しい世界へと羽ばたきます。在校生もまた、進級という節目を糧に、一回り大きな自分へと歩みを進めます。この3月の「節目」にあたり、子どもたちがこの一年で刻んできた努力の軌跡を、ぜひご家庭でも温かく認め、励ましていただければ幸いです。



## 「ありがとう」を見つける名人になろう

先日の朝会で「『ありがとう』を見つける名人になろう」という話をしました。

学校生活の中には、多くの「当たり前」が存在します。子どもたちは、毎日授業を受け、友だちと笑い合い、安全に登下校しています。しかし、この平穏な日常は、決して「当たり前」にそこにあるわけではありません。「当たり前」の中に隠れた優しさや努力に気づく力、それは、他者を思いやり、自分自身の幸せを実感する力へとつながります。毎日給食を作ってくださっている方、登下校を見守ってくださる地域の方、そして何より、毎日を支えてくださるご家族の存在。それら多くの支えがあって初めて成り立つ「かけがえのない宝物」であることを、年度末のこの時期に改めて見つめ直してほしいと考えました。

子どもたちには、「『ありがとう』は、まるでかくれんぼをするように日常のあちこちに隠れています。ごはんを用意してくれたお家の方、落とした消しゴムを拾ってくれた友だち、みんなの帰った後に教室の準備をしてくれている先生、そういった何気ないひとコマの中に『ありがとう』の種はたくさん眠っています。気づこうとする人だけが、その種を見つけることができます。」と伝えました。

また、最後に、子どもたちへお願いをしました。「今日一日で、『ありがとう』を3つつけてみよう」というチャレンジです。さらに、気づくだけでなく、できれば「ありがとう。」と言葉にして伝えてほしい、とも伝えました。

この一年間、子どもたちは学習や行事を通じて、互いに助け合い、感謝を言葉にする場面を数多く見せてくれました。そうした小さな一歩が、相手の心にも自分の心にも温かな灯りをともししてくれるはずです。ご家庭でも、その日見つけた「ありがとう。」を話題にさせていただくことで、子どもたちの気づきと言葉にする力がさらに豊かに育まれると思います。



## 園児体験入学

2月3日(火)に、来年度入学予定の園児を迎えて、体験入学を実施しました。

2時間目は、1年生が、各教室で小学校の一日の生活を発表しました。ついこの間まで「新入生」だった1年生が、この日は立派な「先輩」です。グループごとに、学習やそうじの様子など学校生活の様子を一生懸命に発表しました。

3時間目は、体育館で5年生と交流しました。4月から最高学年となる5年生は、この日のために「どうすれば園児たちが楽しんでくれるか」について考え、趣向を凝らしたゲームコーナーを準備してきました。目線を合わせて優しくルールを教える姿は、すでに学校を引っ張るリーダーそのものでした。

1年生も5年生も、自分たちより小さな子を思いやる「優しい心」があふれていました。園児たちのきらきらした笑顔と、それを見守る在校生の頼もしい姿を見ることができて、とてもうれしく思いました。



## 3月行事予定

SC：スクールカウンセラー

SH：校内スクールヘルパー

SSW：スクールソーシャルワーカー

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
2	月	登校指導 委員会活動 放課後子ども教室	16	月	登校指導 大掃除⑤ 5時間授業 一斉下校14:50
3	火	朝会			通学班会長会議
4	水	4年生校外学習(県庁・南京町) 4年生弁当日 SH	17	火	朝会 卒業式予行9:00 5時間授業 一斉下校14:50
5	木	6年生を送る会 地区児童会⑤ 新通学班下校 SSW			SC(午後)
6	金	1年生校外学習(姫路動物園) 5時間授業 SH	19	木	卒業式前日準備 1~4年生、6年生下校13:30
		一斉下校14:50 1年生、3年生弁当日			5年生下校14:50
9	月	サキちゃん読書の日 5時間授業 一斉下校14:50	20	金	春分の日
10	火	児童集会 2年生校外学習(ヨデルの森) 2年生弁当日	23	月	卒業証書授与式 PTA会計監査
11	水	5時間授業 一斉下校14:50 SH	24	火	修了式 一斉下校11:30
12	木	一斉下校14:50	25	水	春季休業日(~4月6日)
13	金	SH 6年生中学校体験入学	29	日	フクちゃん読書の日
<4月の主な予定> 6日(月) 新6年生登校 入学準備 7日(火) 離着任式 始業式 入学式準備 8日(水) 入学式13:30 弁当日 10日(金) 第1回PTA地区幹事会			17日(金) 授業参観② PTA総会③④ 21日(火) 家庭訪問(田尻 西野 吉田 八反田) 22日(水) 家庭訪問(長目 中島 上中島 西光寺) 23日(木) 家庭訪問(辻川 井ノロ 北野 大門 加治谷 亀坪) 6年生全国学力学習状況調査		

\*インフルエンザ流行のため、2月10日(火)に予定されていた6年生の中学校体験入学は、3月13日(金)に延期になりました。

## 卒業証書授与式について

日時：令和8年3月23日(月) 9:00開会 駐車場：下運動場

場所：田原小学校体育館

\*1~4年生は家庭学習となります。課題は後日、担任よりお知らせします。



## 炭火のように学び続ける子どもたちに



先日、神奈川県鎌倉市の教育長が「炭火のように学び続ける学習者を育てたい」と語っておられる記事を目にしました。炭火は、着火までには時間と工夫が必要ですが、いったん火がつくと、じわりと長く、安定して燃え続けます。この姿は、まさに「学び続ける子ども」の姿そのものだと感じました。

「親に叱られるから勉強する」「テストがあるから覚える」といった外からの圧力による学びは、一時的には効果があっても長続きしません。一方で、「知りたい」「やってみよう」という心の内側から湧き上がるわくわくした感情は、生涯にわたって学び続ける原動力になります。

先行き不透明なこれからの時代、正解を素早く出すことよりも、自分で問いを立て、対話を重ね、試行錯誤するプロセスそのものが何より大切です。国も次期学習指導要領に向けて、「主体的・対話的で深い学び」に加え、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」や「子どものウェルビーイングの重視」を掲げ、学びの在り方そのものの転換を求めています。これから学校では、子どもたち自身の疑問をもとに学習を進める時間を増やしたり、友達と考えを交流しながら理解を深めたりする場面を大切にしたい学習が大切になってきます。さらに「何がわかったか」だけでなく「どう考えたか」「次はどうしたいか」を自分の言葉で表現することも必要になってきます。

子どもたち一人ひとりが学びのハンドルを自分で握り、主体的に学びをつかみ取っていく、これからは、そんな学びの姿をめざした学習の形が大切になってきます。ご家庭でも、お子様が「なぜだろう?」「おもしろい!」と目を輝かせる瞬間があれば、ぜひその火種を大切に育ててあげてください。その小さな炎が、やがて一生燃え続ける「学びの炭火」になるかもしれません。

### コラム ～情報教育～

インターネットの普及によって、今や誰もが世界へ向けて発信者になれる時代がやってきました。例えば、YouTubeをはじめとする動画プラットフォームには年齢制限があり、原則として13歳以上が対象です。13歳未満は保護者の管理下でのみ利用可能ですが、実際の年齢認証はユーザーの自己申告で済んでしまうため、年齢を偽ることは容易ですし、それに対する明確なペナルティもありません。スマートフォンを渡した時点で、お子さんはすでに「世界中に発信できる状態」にあるという認識を持つ必要があります。

近年の情報セキュリティ研修などで報告されている実態として、企業が採用時に候補者のSNSや投稿動画を調査するケースが増えています。面接だけでは分からない応募者の価値観やコンプライアンス意識をSNSで確認するようになっているのです。今のお子さんたちが就職活動をする頃には、発信履歴が採用審査に影響することがさらに本格化していると考えられます。そこで不適切な発言や法令違反を是認するような投稿が見つければ、リスク管理能力を疑われ、採用が見送られることもあるそうです。軽い気持ちで行った発信が、将来の進路に影を落とすこともあります。デジタルの記録は消えにくく、「過去の投稿」が思わぬ形で影響することを、中学・高校進学後を見据えて、今から意識しておく必要があります。

お子さんが将来、思わぬ不利益を被ることがないようにするためには、デバイスを買い与えた後の継続的な見守りが欠かせません。以前からもおすすめしている通り、まずは家庭内で使い方を一緒に確認する「お試し期間」を設定し、親の目の届くところで使い方のルールを身につけさせていくのが有効です。

尾花紀子さんの『スマホ18の約束』が参考になります。(検索してみてください。)



### がんばる田原っ子

手紙作文コンクール絵手紙部門小学校1～3年生の部

入選 1年生 松岡篤希

